

『華夷通商考』の初版について 翻刻及び増補版との比較

加藤 文明子

一、『華夷通商考』

『華夷通商考』は元禄八年（一六九五）に日本で初めて刊行された地理書である。中国から東南アジアを含めヨーロッパに到る外国の地誌を、主に通商の立場から記述している。著者の西川如見は慶安元年（一六四八）肥前国に生まれた天文曆算家で、享保九年（一七二四）に没した。

初版本は元禄八年に上下二巻で刊行され、上巻は中国国内の地誌についてを述べ、下巻では「外国」と称した中国統治下の朝鮮や琉球などと、「外夷」と称した東南アジア・ヨーロッパ諸国についてを記述している。この初版については、長崎通辞林道栄（一六四〇～一七〇八）の『異国風土記』を種本として、如見はそれをほとんど手を入れることなく書き写して出版したものと考証されている。

宝永五年（一七〇八）に刊行された増補版は全五巻本で、如見が自ら改訂し、資料となった種本は当時の明に滞在していたイェズス会宣教師ジョリオ・アレーニの『職方外紀』（一六二三）とされている。一、二巻は初版の上巻、三、四巻は初版の下巻にあたり、五巻

は外夷増付録と称した前巻未載のヨーロッパ諸国に加え、「海中異魚海獣」と称した珍しい海の生き物（現代人からみれば架空の生き物を多く含む）を紹介している。

『華夷通商考』は内容に不備は多いものの、新井白石の『西洋紀聞』（一七一五）以前に刊行された地理書として注目されている。また、石綿（一九九二）が「江戸時代文学に現れる外来語の注釈などのために、しばしば引用される、著名で重要な文献」であり、「蘭学興隆以前の、江戸前期の後半期のものであり、その時期の外来語を、概観するにも好資料であると考えられる」と述べるように、外来語研究の観点からも資料的価値のあるものである。

二、初版本

初版と増補版の最も大きな違いは巻五の存在だが、全巻に渡って、各国の風土や土産等の記述に大幅な加筆修正がなされている。そして初版にのみ存する記述に、下巻の巻末に示された各国の日本から

の距離が挙げられる。この項は、初版にのみ出現する外国地名が見出せるという点でも注視すべきであろう。また、外来語・外国語に関しては、語形や表記の上で多く揺れがみられる。例えば天体を観測するための天文観測器を表すポルトガル語「quadrante」は、初版本で「クワトロワン」と表記されるのに対し、増補版の表記は「クワランテ」となっている。また、国名「ギニア」の初版本表記は「ケネイ」だが、増補版では「ゲネイヤ」である。他にも「スマアタラ」、「スマダラ」、「ホルトキズ」、「ホルトガル」といった表記揺れが多数存在する。

このように、増補版との表記揺れの大きさは、江戸中期の外来語資料として『華夷通商考』を扱う場合に見過さず事ができない。増補版とこれだけ差違がある以上は、元禄八年の語のデータは初版をあたってはじめて収集できるといえよう。増補版の翻刻は岩波文庫を代表に活字化、出版されているが、初版の翻刻は見つけることができなかつたので、今回翻刻を行った。

三、外来語に関する先行研究

『華夷通商考』の語学的研究としては石綿（一九九二）がある。岩波文庫本をテキストとし、「アヒン（阿片）」「ヤ「マチン（番木）」といった近代中国語の系統のものを除いた、西洋系外来語中心のリストを作成し、その推定される語源及び簡単な説明を付している。

また、判断が付かず外来語の中に入れる事ができない物に関しては、別リストを作成し、語源未詳語としている。

ポルトガル語が五九、オランダ語が二四と、きわめてポルトガル語が多く残存している結果を示し、この二言語の勢力関係は西鶴や近松の作品でもよく似た状況にあると述べ、元禄宝永期の外来語の特徴であると考察している。『増補華夷通商考』の特徴としては、地誌という性格上当然であるが、文学作品に比べて異なり語数がきわめて豊かであることも見出している。

四、初版と増補版の外来語・外国語の比較

・石綿（一九九二）の外来語リストに記載され、初版に見られなかつた外来語は以下の通りである。

アネイジフランドミン、シヨロン、タガヤサン、タラミツ、タンカラ、ホリハ、ラシマ、アゼトウナ、カナノウル（血止石と注記されており、「血留石」という語は初版にも二箇所現れる）、カピタン、キンマ、コキイニヨ、サゴヒイ、サフラン、サンゴベイ、チャボ、チャルメラ、デヤマン、テリアカ、バルサマ、ベイシムレル、ポウブラ、ムスカウベヤ皮、ムリヤウ、ラガルト、ラガルト魚、ラツパ

これらは増補版における加筆で初めて登場した語といえよう。

・石綿(一九九二)の外來語リストに記載されなかった、初版と増補版双方に出現する外來語は以下の通りである。

コンテレキ、ヘンガラカイキ、キセル、キリシタン
洩れ乃至は外來語でないかと判断したものかと思われる。

・増補版に見られず、初版にのみ出現する外來語、外國語は以下の通りである。

クイナム、ゴア、サンロレンリ、ピヤウ

この四語はいずれも地名であり、下巻巻末の各国の日本からの距離を示した項に出現する。

ラカテ

「ラカテ島」の形でベンカラ土産の項に出現する。「島」は「島織物」の意味であり、唯一地名ではない語である。

ムネカウヘヤ(モスクワの場合は除外)

「ムネカウヘヤ」に関しては、増補版に「ムスカウベヤ」(現在のモスクワ)の記述があり、語形が似ているため同一とも考えられるが、前者が「日本海上四千百里」「暖國ナリ」とあるのに対し、後者は「日本より海上二萬四千百里」「大寒國也」とある。そのため、全く別の国であるか、国名と東南アジアの別の国の記述とが混同された可能性が高い。

萬丹

地名であり、下巻巻末の各国の日本からの距離を示した項に出現する。距離が「三千三百里」であり、「パンタム(番旦)」の項に「海

上日本ヨリ三千五百里」とあるため、「萬丹」は「パンタム」である可能性もある。同一の場合、増補版に見られない漢字表記を有する外國語として、「パンタム(番旦・萬丹)」が挙げられることになる。同様の外國語に「マラッカ(母羅伽)」があり、「マルカ」に注のよくなかたちで「麻六甲」と付されている例が挙げられるが、これも下巻巻末の日本からの距離の項に出現する。

陀イ吧イ

不明語であるが、下巻巻末の各国の日本からの距離を示した項の「トフ」に注のように付されて出現する。そのため、地名の外國語である可能性が高いため、ここに示した。

・石綿(一九九二)が語源不明としたものうち、「アガヒイター」(初版の表記「アガヒイター」)の語源は、ポルトガル語 *Aquavia* かと推定できる。*Aquavia* はスカンジナビア産の蒸留酒である。

・初版から増補版に改訂される際、清音表記が濁音表記に変化したものが六四箇所であるのに対し、その逆は一四箇所であった。

以下に、『華夷通商考』初版本の翻刻を示す。

凡例

翻刻にあたっては次のような処理をした。

- 一、改行は底本に従った。
- 一、丁数は(一オ)のような形で丁の変わり目の最後に()に入れて示した。
- 一、漢字は原則として通行の字体に改めた(旧字体の形に近いものは旧字体で、新字体の形に近いものは新字体で示した)が、異体字で示したところもある。
- 一、片仮名の異体字は現行の片仮名に改めた。
- 一、合字の仮名は二字に開いた。
- 一、濁点、振り仮名、誤字、脱字は底本のままとした。
- 一、疊字の二の字点は「々」に改め、「ヽ」「ヾ」「ヿ」「ヾ」「ヿ」は底本のままとした。

支那天竺拳道程土產人倫於風俗

華夷通商考

洛陽書林

甘節堂
學齋軒 全刻

華夷通商考上

長崎西川忠英如見子誌

中華十五省之說

〔二京〕

南京 直隸

北京 直隸

〔十三省〕

山東 山西 河南 陝西 湖廣

江西 浙江 福建 廣東 廣西

貴州 四川 雲南

已上是ヲ中華十五省ト云リ。大明ノ太祖ノ時。初
テ十五省ニ分チ。各國號ヲ改定ム。日本正保ノ比
韃靼ヨリ大明ノ代ヲ亡シ。大明國ノ號ヲ改メ大清
ト號ス。今此號ヲ用ユ。右ノ國々路道程規。方角土產。

(表紙)

(一才)

四季ノ次第。人ノ風俗等。記之者也。

官府ト云ハ一國々々ノ都也。今日本ニ國主居

(一ウ)

所ヲ城下ト云カ如シ。日本ノ例ニシタカヒテ。官府
ヲ城下ト記ス

南京

春秋ノ吳國也。城下ハ應天府ト云所也唐第一

ノ上國ニテ萬自由ナル國也。今清朝モ天子ノ親

屬ヲ以テ城主トセリ自南京ニ北京マテ。陸地三

十日程也。又川船ニテモ往還スルナリ。今長崎ニ

(二オ)

乗來ル船ハ皆此川船ヲ直ニ乗出シ來者也。

此故ニ舟ノ造ヤウ。底平ク長キ也。

道程日本ヨリ海上三百四十里。北極星地ヲ出ル

事三十二度。方角九州ノ正西ニ當ル日本ニ來

船四季トモニ有レ之。何方ヨリ吹風ニモ乗ヤスク。妨

ナキト見ヘタリ。四季日本九州ニ同シ。雨露霜

雪。草木鳥獸。日本ト不レ異。詞ハ十五省トモニ此國ノ詞

(二ウ)

ヲ以テ本トス。日本ニテ山城ノ詞ヲ上トスルカ如シ
日本ニテ只今讀来^ル字ノ韻。南京ノ韻ニ相叶フ文字
多シ。唐土ニテ詩ヲ謡フニモ。此國ノ音律ヲ以テ本
トス。人物禮法正シク。日本ニ不^レ異。衣冠八今之清
朝ニ改メラレテ。達旦國ノ裝束トナセリ。頭髮モ廻
リヲ剃テ。中ニ少シ殘シ。ミツウチニクミテ。ウシロヘサ
ケ置ソ。十五省トモニ同前也。今長崎ニ来^ル所ノ唐

(三オ)

人。姿皆北狄達旦ノ姿ニナリテ。中華往古ノ風俗
ニアラス。此國大國ニテ。海邊ニ津湊多^キ故ニ日本へ
来ル舟多シ。日本ノ萬治寛文ノ比ヨリ日本ニ渡
海ヲ大ニ制禁セシカトモ。今^ハ大清一統セシ故日本
へノ渡海宥免セラレテ。此所ヨリ長崎ニ来^ル船多シ。
織物小間物諸道具。此所ヨリ来ルヲ上品トス。
南京國ノ内ヨリ日本へ船仕出^シ来^ル所々左ニ記ス

(三ウ)

蘇州 自^ニ日本^一海上三百里。

古之姑蘇ト云是也。城廓民家モ多シ。船仕立ル所也

松江府 路程右ト同

蘇州ヨリ狭キ所ト云フ。此所ヨリ應天府マテ川

舟ニテ往来ス。應天府マテ行程四十里許。

揚州 自日本海上三百二十里。

揚州ノ津是也。蘇州ヨリモ繁昌ノ地ナリ。

常州 自日本海上三百里。

蘇州ノ並ヒナリ。

崇明縣

南京川口之島也。路程同上。

鎮江府

揚州ノ南也。路程同上

淮安府 自日本海上三百五十里

揚州ノ北也。山東ニ近キ所也。

應天府 自日本海上三百餘里。

南京ノ城下也。自是川口マテハ。四日路有之。

(四オ)

(四ウ)

右ノ外少々舟仕出ス所アレトモ。希ニ来ル故ニ書レ之。又船不
来ト云ヘトモ。商人ノ来ル所々左ニ記ス。

鳳陽府此所ヨリ八舟
来コトモアリ 安慶府 太平府 廬州 徽州

廣德府 和州 濠州 徐州 寧國府 池州府

此外商人ノ在所少々有レ之

南京土産

書籍應天府 白糸廣徳府 綾子リンス 紗綾チリメン 雲絹南京

裏絹南京 金緞キンイロ 羅紗ロシヤ 紵機サリン 閃緞トンス 五絲ムリヤウ

錦チヤウ 柳條チヤウ 紬トロメン 襪褐トロメン 金入木綿 絹紬 綾木綿

真綿 布色々々 木綿 縵綿クリワタ 紙安慶府 糸線マガイ 書翰紙

箔金銀 墨色々々 筆色々々 扇色々々 硯石色々々 線香色々々 針

(五ウ)

櫛色々々 香袋 茶上中下 造花 茶瓶土瓶 磁器土瓶物

光明朱 鑄物鑄金道 錫道具色々々 塗物道具堆朱青
貝粉繪

朱文リ象眼鐺 綠青 明響 綠響 赤豆 芡實

應天府 板榔揚州 海螺淮安 黄精濠州 何首烏徐州

甘艸 紫錦錠 蚰藥 花石 皮文庫色々々 墨蹟

(五オ)

繪 張子人形ハリコ 古董唐物道 角細工色々 細物

右ノ外色々雖レ有レ之。不レ能盡記。一葉種ノ之内。其所ノ

(六才)

名物力。或ハ異類ノ珍シキ葉種等ハ。其出所ノ名ヲ記スル者也。並葉種等ハ。何方ニモ品々有レ之物ナル故。其一種々々ノ出所ヲ不レ書記。又小間物ノ類モ同前也是ヨリ後段々可レ準レ之。

北京

王城ヲ順天府ト云戰國ノ燕ノ都是也。元明ノ都モ此所也。今清朝ノ天子モ順天府ニ居東北

(六ウ)

ハ朝鮮國ニモ續キ。韃旦ニ連レリ要害ノ地也。

唐土東北ノ隅也。此國ヨリ南京マテ。陸路三

十日許也。

此國ヨリ。日本ニ舟八來ル事ナシ。商人トモ。此國ノ土産等ヲ持。海邊ニ出南京船ニ乘來也。

道程自日本ニ凡五百餘里。北極星出レ地ヲ四十度太強方角日本ノ戌亥也。四季寒國也。雪降事多。

衣冠南京人ニ同シ。但シ寒國故多八裘ヲ用ユル也。詞南京口同前也。但音律少強シ。人品モ南京ヨリ少シ豪強ニ見ユル也。

北京ノ内ヨリ日本ニ來ルル商人之所々左ニ記ス

順天府 保定府 順德府 廣平府 大名府

永平府 河澗府 保安府 延慶府 萬全指揮使司

北京土産

(七才)

人參永平府 水晶 瑪瑙 丹錫 紙色々々

土燒物順天府 芽種 畫眉石 銀魚 綿梨

紫草 蟾酥 玄精石 紫斑石大名府 榛實

トロメシ襪南京ヨリ 蔓荊子 半弓 藥種色々々 細物色々々

此外藥種等多有レ之トイヘトモ。上品ノ之分記レ之。

山東

城下ヲ濟南府ト云。春秋魯國也。南方ハ南京ニ

續キ。北ハ北京也。海毛有テ大國也。孔子大聖ノ

(八才)

(七ウ)

廟其外奮蹟多丰所也

此國海邊二續タル國也ト云ヘトモ。日本二舟仕出シ
来ルコト希也。商人トモ八南京舟ニ乗渡ル者餘多有レ之。
道程自日本海上四百里。北極星出地三十七度
ナリ方角日本ノ西ニシテ少シ成ノ方也。
詞南京口同前也。其内少不同アリ。日本京都

之詞ト。大和ノ詞トノ如シ。

衣冠人物南京ニ同シ。四季日本京都ニ替リナシ

此國ノ内ヨリ日本へ来ル商人ノ所々左ニ記ス

濟南府 交州 青州 東昌府 登州 萊州

遼東

以內萊州八海邊ナル故船ノ来ルコト有ル也。

山東土産

牛黃青州 人參遼東 阿膠 枸杞子東昌 棗 金棗

蒙頂茶蒙山ヨリ出ル茶ナリ 河鮫 黃絲 真綿 紬 襪褐

硯石 五色石萊州 土燒物 臘フットセイ 臍 青鼠皮遼東

(八ウ)

(九オ)

貂鼠同上 松實同上 藥種萊州二多シ

此外小間物道具有レ之。

山西

城下ヲ大原府ト云。戰國趙之都也。堯舜之都

(九ウ)

モ此所也。此所海邊殊外遠キ所ナル故日本へ来ル船無之。商人トモ南京船ニ乘長崎ニ来ル也。

道程南京ヨリ乾ノ方ニ當テ。陸路二十日程有之。海路無之國也。故ニ日本ヨリノ道程ヲ不レ記。北極地ヲ出ルコト三十八度也。

詞南京口ニ同シテ音律強シ。人物南京人ニ同シ。日本ノ關東ト京都トノ如シ。

(十オ)

四季日本ヨリ寒國也。此國寒濕強キ故ニ常ニ此國ノ人蒜ヲ食セリ。故ニ人ノ勻惡シ。

衣冠同レ前但シ此國ノ人。衣服ニ狐狸等ノ裘多シ。

此國ノ内ヨリ長崎へ来ル商人ノ所々

大原府 潞安府 汾州 遼州 沁州 澤州

山西土産

人参 遼安府 麝香 遼州 無名異 同上 芽種 芽香 遼州

(十ウ)

石菖蒲 沁州 黄芪 同上 瑪瑙 毛氈 甘草 汾州

土烧物 藥種

陝西

城下ヲ西安府ト云。戰國ノ之秦ノ之都也。漢朝ノ

都モ此國也。此國海ナキ故。船八日本ニ不来。

商人南京福州船ニ乘渡也。

道程南京ヨリ三十日路有レ之。難所要害ノ之地也。

(十一オ)

方角唐土ノ之西北之隅也。文王武王之都此國也。

四季日本ト同シ少寒キ國也。北極出レ地ヲ三十五

度。人物衣服同レ前也。

詞同前ニシテ。但少イヤシ。

此國ノ内ヨリ長崎へ来商人ノ所々左ニ記ス。

西安府 漢中府 平涼府 河州 鞏昌府

臨洮府 慶陽府 延安府 岷州 洮州

鳳鈴府 岷州衛 河州衛 靖虜衛 榆林衛

陝西行都司

陝西土產

毛氈西安府 瑪瑙 熊膽漢中府 辰沙同上 麝香漢中府

烏蛇 紫河車漢中 雄黃鞏昌 石膽 鹿茸 蜂蜜

羚羊角 牡丹皮 青木香延安 枸杞子 金紫車

蟾酥 藕粉漢中 瓷器土燒物 錦雞 飛鼠西安府

(十一ウ)

犛牛毛赤屬屬ニスル毛也 白毛毛也 鸚鵡 豹皮 石油

此ノ外薬種品々有之。唐土ノ内此國ノ馬ヲ以テ好ヨシ

トス。諸国ノ馬トハ同シカラスト也。

河南

城下ヲ開封府ト云。戰國魏之都也。伏羲神農

之都モ此國也。

海邊ニ非ル故船八来ルコトナシ。此國ノ商人南京舟二

(十二ウ)

多乘来也

道程南京ヨリ陸路二十日。北極ノ星地ヲ出ル事

三十五度。方角八南京ノ西也。

四季日本幾内同前。

人物南京人ニ同シ。詞モ替リナシ。

此國ヨリ日本ニ来ル商人ノ所々。

開封府 汝寧府 歸德府 衛運府 賴德府

河南府 南陽府 汝州 懷慶府

河南土産

牛黄頤徳 磁石同上 熊膽河南 烏梅 地黄懷慶

鹿茸同上 石青南陽 香橙南陽 ヲシユカシ 牡丹皮 白花蛇

艾頤徳 藥南陽 綠毛氈同上 黃芪汝寧 礬石 茶

弓開封 瓷器同上

此外奇物有レ之藥種汝寧懷慶ニ多シ。

湖廣

城下ヲ武昌府ト云春秋ノ楚國是也。洞庭湖モ

此國也。風景ノ境地多シ。海邊ニ非ル故日本

(十三才)

(十三才)

不来。商人八南京福州之舟二乗来ル也
道程南京邊ヨリ十日路西ノ方也。北極地ヲ出ル
コト三十二度。四季日本ヨリ暖也。
人物南京同前也。詞モ替ナシ。

(十四才)

此國ヨリ日本へ来商人ノ所々。

武昌府 漢陽府 襄陽府 德安府 黄川
荊州 兵州 長沙府 衡州 寶慶府
常德府 辰州 永州 承天府 靖州 鄖陽府
永天府 柳州 永順軍民使司 施州衛
保靖軍民使司
湖廣土産

(十四ウ)

茶武昌紙色々水晶 白蠟 石青 石緑 水銀廣州
朱砂同上文葛布 綠毛龜 硯石 方竹兵州
班竹 香橙佛手柑金稜 金星草 黄精 地榆
畢蘇 異蛇 錦雞 天鷲 黑鷓 白鷓 鷓鴣
豹 野馬 白艾 菜種

江西

城下ヲ南昌府ト云。戰國楚ノ地ナリ。鄱陽湖此。

(十五才)

國ニアリ。是モ海邊ニ非ス。故舟八不來。商人八來也。

道程南京ヨリ陸地十日西之方也

四季日本ヨリ燠ナル國ナリ。北極地ヲ出ルコト二十九度

人物衣服同前。

詞南京口通シテ音律ニ少シ不同アリ。

此國ヨリ日本ニ渡ル商人ノ所々。

南昌府 饒州 廣信府 南處府 九江府

(十五ウ)

建昌府 撫州 臨江府 吉安府 瑞州

遠州 贛州 南安府

江西土産

葛布南處府 茶 土燒物廣信 紙 金絲布建昌

石綠 水晶吉安府 石青 矢竹 班竹贛州

紵布 黃精 茶磨南安府 地黃 藥種

浙江

(十六才)

城下ヲ杭州府ト云。春秋越之地也南京之南並之國也。西湖モ則杭州ニアリ。風景無雙之地ニテ。民家多賑力ナル所也。此國ヨリ日本へ舟仕出入津湊多有之

道程日本ヨリ海上三百五十里。方角日本九州ノ西ニ當ルナリ。北極出地三十度
四季日本九州ニ同シ。

(十六ウ)

人物衣服南京人ニ替リナシ。詞モ南京同前

此國ヨリ日本へ船出シ来津々左ニ記ス
寧波^{ミンパウ}

日本ヨリ海上三百里。繁昌ナル所ニテ津湊能所也。南京福州ノ船モ此湊ヨリ出シ日本へ来ル舟多シ。其舟ヲモ寧波出シノ船ト云也。尤所ノ者モ直ニ日本へ渡海ス。

(十七才)

四明

明州ノ津是也。今八大方寧波ヨリ出船スル故。

此津ヨリ出船希也。海上同前。

台州

日本海上三百二十里。天台山モ此所也。

温州 日本ヨリ海上三百三十里。

舟山 温州之内トモ云。日本ヨリ海上二百五十里。

(十七ウ)

普陀山

海邊ノ島ニテ僅ナル所也。

海上舟山ト同シ。觀音ノ聖地ニテ出家ハカリ居住ス。

杭州府

海上右ニ記ス。則浙江ノ城下ニテ川内ヨリ船乘

出来ル也。

右之外不意ニ船仕立渡海スル所モ有之ト云ヘトモ

(十八オ)

不定ナル故畧之。右ノ所々ヨリ渡海スル舟南京造

リニテ。南京人トモ乘来モ有之。又福州作ニテ福

州人トモ乘来ルモ有之。其舟ニモ此國ノ者トモ同乘来ル也。

此外来船商人之所々。

嘉興府 湖州 金華府 嚴州 衢州

處州 紹興府

浙江土産

(十八ウ)

白糸 縐紗 紗綾 綾子 綾機 雲絹ナンキン
ドンス

金絲布 葛布華波 毛氈 錦 綿 羅

裏絹 茶 紙 竹筒 藥種杭州 茶碗葉 扇子

燕脂 筆色々々 墨色々々 瓷器土産物 南棗金華 漆嚴州

銀魚 紅木屋 方竹台州 硯石 冬笋モウソウ
竹アリウ

黄精杭州 炭實同上 竹雞

右之外小間物類有之

(十九オ)

福建

城下ヲ福州府ト云。古ノ南越ノ地也。南京ニ同

キ大國也。此國中華ノ巽之方ノ八テニテ海邊

廣キ國ナル故。日本ニ渡海之津多シ。

道程日本ヨリ海上五百五十里。方角日本九州

ノ坤也。日本ニ來船西南風ヲ好トス。然トモ東北ノ風
ニモ吹戾サレヌ乘來也。四季トモ日本ニ往來ス。近年

(十九ウ)

來朝之唐僧多ハ此國ノ人也。

四季日本ヨリ燠國也。此國ノ夏八日本ノ夏ヨリ

甚タ暑シ。但福州府ハ日本九州薩摩ニ同シ。其外

之所々ハ溫暖ニテ雪降事稀也ト云。北極地ヲ出ルコト

二十六度人物衣服同前也。但南京ノ人ナトヨリ風

俗鈍クミユル。南京ト同音ナル詞モ若シハ有之。

此國ヨリ日本へ船仕立ル所々左ニ記ス

(升才)

福州^{ホクテウ}

則福建國ノ城下也。城廓モ殊ノ外廣ク町ノ屋モ

賑^{ニハシキ}所也。海上右ニ記ス。

泉州 日本ヨリ海上五百七十里。福建ヨリ陸

路ニ日。國姓爺居住ノ城廓此所也。

廈門 又思明州ト号ス。海上日本ヨリ六百里島也。

泉州ヨリ海上廿餘里六五天ヨリ八里所

ニヨリ殊ノ外近キ所モ有レ之。湊ヨクシテ日本其ノ

(井ウ)

外所々ニ往来ノ船多キ也。國姓爺此處ヲ開ク。

沙埋 海上日本ヨリ四百三十里。近年此所ヨリ

舟不_レ来。狭キ所也。

漳州 海上日本ヨリ六百三十里。廣キ國也。此國ノ

人八天竺諸國ニ渡海シテ商賈ス此故ニ

長崎ニ来ル天竺又ハ外國ノ船ニモ此國ノ

者乗来ル者多也暹羅_{シヤム}。東補寨_{カボチヤ}。咬啣吧_{ジャガタラ}ニモ此_ヲ

(井一オ)

國ノ人餘多住居スルナリ。

詞福州口トモ不同。南京口トハ曾テ不通。尤南京

其外ノ詞ヨリ賤キ音律也。福州口ニハ若通スル詞モアリ。

安海 海上同前也。漳州ノ城下也。城廓モ廣ク

繁昌ノ地ナリ。

右ノ外舟不_レ来トモ。商人来ル所々。

興化府 建寧府 延平府 汀州 邵武府

(井一ウ)

永春_{閩州トアリ} 福州ト同シ。疑クハ永春ナラン故今改ム。永

春八泉州ノ内也。右所々ノ商人福州泉州ヨリ
出ル舟二餘多来ル也。

福建土産

書籍 福州 墨蹟 新古 繪 新古 墨 筆 色々 紙 色々 茶

布 永春 白糸 綾子 綉紗 紗綾 八糸 五糸

柳條 綾機 紗 閃緞 紕 羅 絹紬 紬

木綿 裏絹 天門冬 白砂糖 氷砂糖 龍眼 絲線 明礬

荔枝 天門冬 甘蔗 橄欖 花文石 鹿角草 線香

牛筋 天蠶絲 土燒物 鑄物道具

塗物道具 小間物 古董 扇 魚膠

砂糖漬物 藕粉 蠟 椰 針 藥種

此外造菓子類多ク持来。不能悉記。又細物

道具澤山ニ持渡所也。

(廿二ウ)

廣東

城下ヲ廣州府ト云。宗朝之南漢是也。大國ニ

(廿二オ)

テ絲織物之類又菓種之類南京福州二勝

リテ多キ國也。

道程日本ヨリ海上八百七十八里。方角福州

之西海邊並ノ國ナリ。北極地ヲ出ルコト二十四度

夏至日中頂ニアリテ影ナシ

四季福州ヨリ又暖也。四月比ヨリ殊ノ外熱。冬中

雪降事稀也。

人物南京福州ノ人ヨリ風俗賤ク見ユ。衣服八同前。

詞福州口トモ又替リ。尤南京ニモ不通。

此國ヨリ長崎へ船仕出入所々左ニ記ス

廣州 則廣東之城下也。海上右ニ記ス。

(廿三ウ)

潮州 海上日本ヨリ八百里。此國ハ韓退之ガ流

サレシ所也。日本ノミコカンナギ山伏ヤウノ

モノ多キ所ナリ。

蘇祿 海上日本ヨリ八百里。狭キ所也。此已前ハ

船多ク乘リ来リシヲ。今ハナシ。

(廿三オ)

南洋 海上日本ヨリ八百五十里。是毛蘇祿

同前ノ所也。

(廿四才)

碣石衛 海上日本ヨリ八百餘理。小キ所也。

惠州 海上日本ヨリ八百五十里。

海南 海上日本ヨリ八百里。

高州 海上日本ヨリ千里。

右何毛廣東國之津湊也。摠テ廣東二八海邊

之津湊十二所有之。是ヲ十二門ト云テ繁昌之國也。

右之外船来ラサレトモ商人ノ出ル所々左ニ記ス。

(廿四ウ)

韶州 南雍府 雷州 瓊州 羅定府

此外廣東出シノ船八南京福州ノ人多ク乘来

ル又雲南四川ナトノ商人モ此國ノ船ニ乘来ル。

廣東土産

白糸 黄糸 錦 キンイリ 二彩 タヒイ 八糸 色々

七糸 シユチン 天鷲絨 ムリヤウ 五糸 トンス 閃緞 チヨロク 鎖服 柳條

綾子 リンズ 縐紗 紗綾 絹紬 ケンチュウ 紵 綿 紬

網カヤノ塗物朱塗 土焼物白焼 銅器 錫器 亞鉛トクン
 丹砂テク 天蠶糸ス 銅色々 水銀 針 眼鏡エンキ 荔枝メカネ
 龍眼肉 沈香漳州 烏木コクタン 簪州 枝花ハヤ 真珠
 玳瑁漳州 板椰子 英石 龍腦 麝香 眼茄
 山帰来 漆白クシ 五色雀 孔雀鳳州 碧鷄 鸚鵡
 翡翠 端硯 椰子油 蠟琥珀丸 蠟清心丸
 藥種色々 花梨木クハリン

(廿五才)

右之外雲南四川ノ藥種此國ノ船ヨリ持渡ル
 故ニ藥種ノ類此國ヨリ来ラサル物ナシ。此外小間
 物道具多シ。糸織物之類。唐第一之國也。

廣西

城下ヲ桂林府ト云。廣東ノ西也。此國ヨリ直ニ日
 本へ船来ル事ナシ。此國ノ商人廣東出シノ船又
 八泉州ノ船ニ乗来ルナリ。

(廿五ウ)

道程日本ヨリノ海上不齊。廣東ヨリ陸地五日

(廿六才)

路有之也。

人物廣東二同シ。詞モ同前也。北極地ヲ出ルコト二十六度
四季福州同前也。

此國ノ内ヨリ日本へ來ル商人ノ所々左二記。

桂林府 柳州 梧州 潯州 南寧 大平府 鎮安府

思陵府 利州 泗城州 奉議州 向武州 都康州

龍州 江州 安隆長官司 上林長官司 思恩軍民府

遠州 平樂府

廣西土產

龍眼肉 柳州荔枝 同上辰沙 肉桂 潯州石燕 桂林府

白蠟 黃蠟 平樂雄黃 檳榔 紵布 犀角

地黃 礬金 鉄刀木 潯州降真香 鎮安府象 南寧

錦鷄 南寧 蚰蛇蟾 梧州 藥種 色々

此外細物道具等品々有之尽ク不記。

雲南

城下ヲ則雲南府ト云。古之南夷ノ地是也。東

(廿六ウ)

(廿七オ)

京交趾其外ニモ地續キタリ。大國ニテ西ノ方
堺ヲ不知ト也。此國ヨリ日本ヘ船不來。

道程日本ヨリ凡一千四百里餘。中華西南之偶也。
四季廣東同前也。但大國ナル故。南ノ方八暑氣甚キ

國ナル由。

人物賤キ國也。衣服同前。

詞福州トモ廣東トモ同シカラス。

此國ヨリ日本ニ來ル商人ノ所々左ニ記ス。

大理府 楚雄府 曲靖軍民府 徽江府 蒙化府

廣南府 廣西府 景東府 鎮沅府 永寧府

順寧府 鶴慶府 尋甸軍民 武定軍民 永昌軍民

(廿八才)

元江軍民 木邦軍民 車呈軍民 瀾滄衛 孟養宣慰

騰衝指揮 緬甸宣慰 八百大甸宣慰 孟定府

姚安軍民 北勝州 新化州 威遠州 孟良府

南甸宣慰 隴川宣撫 鎮康州 大候州 紐兀長官

灣甸州

(廿七ウ)

雲南土産

麝香麝化 沈香 白檀 乳香 當歸 木香

(廿八ウ)

安息香 人參燕麥 木樨子 松子 烏木コクタン

板椰子 胡椒 錫 石青 石綠 鹿茸

琥珀 瑪瑙 茶 毛氈下品 毛褐 波羅蜜

臨安 細布 攀枝花パンチャ 石油 矢竹 鱗蛇蟾

孔雀 小鷄 犛牛 石燕 蛤 猩々永昌象所々之

青魚蟾 虎孟買 火浣布 班竹 藥種

右之外藥種之類多キ所也。麝香八此國ヨリ

(廿九オ)

出ルヲ唐土第一トス。

貴州

城下ヲ貴州宣慰司ト云。古之南夷之地也。此

國海邊ニ遠キ故ニ日本へ舟不レ來。

道程廣東ヨリ十五日又八二十日路也。方角雲

南之北東也。要害之地ニテ切所多キ國也。

四季日本ニ同シ。

人物衣服福州ト同シ詞ハ少カハリアリ。

此國ノ内ヨリ日本ニ渡ル商人之所々。

貴陽府 思州府 思南府 鎮遠府 都勻府
普安府 銅仁府 石阡府 鎮寧府 安莊衛
黎平府 新添衛 平越衛 龍里衛 畢節衛
威清衛 安莊衛 清平衛 平壩衛 安南衛
赤水衛 興隆衛 烏撒衛

(廿九ウ)

右所々ノ商人廣東福州南京船ニ何レモ乘來也。

(三十オ)

貴州土産

水銀烏州 朱砂同上 雄黃貴州 葛布 茶 菖蒲
蘭思南 芙蓉 海棠 石榴 茯苓 木香
白鵬 竹雞 藥種色々

四川

城下ヲ成都府ト云。戰國秦之國之内也。南八雲

(三十ウ)

南北ハ陝西ニ連レリ。唐土西ノ果也。海邊ニ遠キ

國也。日本二船来ルコトナシ。

道程四季人物衣服言語何レモ貴州ト同事也。

此國ノ内ヨリ日本ニ来ル商人ノ所々。

成都府 保寧府 順慶府 叙州 重慶府

馬湖府 眉州 功州 瀘州 雅州 東川軍

夔州 播州宣慰 平茶洞 四川行司都

永寧宣慰 東州軍民 鎮雄軍民 黎州安撫司

喜定州 邑梅洞 松潘指揮 西陽軍民

潼州府

右之所々商人トモ。南京福州出シノ船。又八廣東

舟ニ乗来ル也。

四川土産

黄糸保寧順慶毛氈 扇子 牛黄黎州水銀 丹砂

(三十一ウ)

麝香嘉定續錄羚羊角川雄黃播州同上犀角川黃蓮

胡黃蓮川牛膝川弓中華第一附子川當歸羌活

川白朮川牡皮川貝母 升麻川烏頭續斷 蜜

(三十一オ)

川華解 川練子 鬱金 天門冬 川五加皮 棗
 荔枝 茶 蒲江硯 松子 蟾酥 石爪
 石綠 錦雞 白鷗 鸚鵡 銀鷄 畫眉鳥
 異馬 犛牛 氍毹 斑竹 梅子 他所ヨリ
英大也 藥種 色々

(三十二才)

右之外藥種之品々此國ニ有ラスト云モノナ
 シ唐第一之藥種能所也。右記タル藥種八勝テ
 名物ヲ記スル也。

右ヲ中華十五省ト云也。日本ニテ唐ト云フハ。
 此十五省之分也。此國々何モ三教之學道ヲ尊
 ビ。文字相通スル也。

唐船役者

ホイテウ 夥長 タイコウ 舵工 トウテン 頭掟 アパン 亞班 ツアイホウ 財附
ツランクワン 總官 サンバンコウ 杉板工 ヒヤンコウ 香工 コシヤ 工社

(三十二才)

華夷通商考上

(三十三才)

華夷通商考下

長崎西川忠英如見子誌

外國

朝鮮 琉球 タイワン 大宛 トシキン 東京 カウチ 交趾

右ノ國々中華ノ外トイヘトモ。中華ノ命ニ從ヒ。

中華ノ文字ヲ用。三教通達之國也。

外夷

(一才)

チャン 占城 カンボウ 柬埔寨 タニ 太泥 ロツコ 六甲 シヤム 暹羅 シヤカタ 咬啞吧
ジャワ 爪哇 バンタン 番旦 モラカ 母羅伽 モウル 毛ウル フランタ 阿蘭陀

右之國々中華トチカヒ。皆横文字ヲ書也。

已上ノ國何レモ唐人商賣往來スル所也。モウル阿

蘭陀ノ二國八唐人往來ナシ。其地ノ舟長崎ニ入

津ス。此内ヘヲランタ人商賣ニ往所モ有之。
阿蘭陀人商賣往來ノ國三十五個國輿ニ記ス。

(一ウ)

其外又サントメ インテヤ バタ 巴旦 マロク カフリ チヤウウ
御禁制之國々近代停止不來

イスハニヤ ホルトキズ カステラ アマカハ 阿媽港 ロレン 呂宋
マンテイラ パ、ヤン エゲレス

朝鮮

國ヲ八道二分ツ。釜山海ニ日本對馬之番所アリ。
其レヨリ都府マテ八日路有レ之也。

(二オ)

海上對州ヨリ四十八里鰐浦ハ渡口也。朝鮮牧島
見ユル。四十八里トイヘトモ甚近キ也。

人物詞唐人トハ各別也。此國ヨリ對馬へ官人隔
年ニ出仕。若シ他國へ漂流ノ獵船ナト有之時ハ。長
崎へ送届ケテ又長崎ヨリ對馬へ渡サル、也。

土産

人參 藥種色々 木綿 紬 サムソキ トロメン 毛氈

油布 油帛 牛黄 筆^{ヲリ}墨 扇 瓷器

此外大方唐ノ土産ト交易スル也。鶴鴨鱈米等
對馬へ来リテ商賣アリ。

琉球

此國過半八福州ニ從ヒタル國ニテ。唐ヨリ往来
モ有之也。薩摩ヨリ往来之所モ有之也。四季日
本ヨリ暖ナリ。海上薩摩ヨリ二百里。南西ニ當

レル島國也。

人物朝鮮ニ似テ。詞中華ニ不通。薩摩ノ國ヨリ諸
事アツカリ聞ク。此國ノ船漂流ノ時ハ其所ヨリ長
崎へ送届テ。長崎ヨリ薩摩へ渡シテ歸國ス。

土産

木綿 芭蕉布 黒砂糖 アハモリ酒 薬種

右之外色々有之トイヘトモ。皆福州ヨリ来ル物也。

大宛^{タウワン}又三名有テ臺灣 東寧 或ハタカサコトモ云フ

(二ウ)

(三オ)

(三ウ)

島國也。此所古八主ナキ島ナリシニ。何ノ時ヨリカ
阿蘭陀人日本へ渡海ノ便リニ此島ヲ押シ領シテ
城廓ヲ構ヘ住シテ。日本其外國々へ此所ヨリ
渡海セシヲ。日本寛文元年ノ比。國姓爺廈門ヨ
リ此島ヲ賣落シ。ヲランタ人ヲ追拂。國中ヲ治メ。
城廓ヲ改メ築キ居住セリ。其子ノ錦舎モ父ノ

(四才)

遺跡ヲ續キ。一國ヲ治テ。明朝ノ代再興センコトヲ
謀テ。終ニ清朝ニ隨サリシニ其子奏舍^八日本貞
享元年ニ至リテ。清朝ニ降參シテ。國ヲ退キ渡
シテ。其身八王号ヲ蒙リ。北京ニ居住ス。今此島
モ清朝ヨリ守護ヲ置テ。仕置スル也。

此國根本ノ名八タカサコ也。日本ノ人高砂ノ文
字ヲ假用ユ。或八大冤臺灣卜書。此八唐人ノ名

(四ウ)

ケタル也。國姓爺居住已後八。國號ヲ東寧ト改ム。此
島中華之京都ヨリ南ニ當レルニ東寧ト號スル
事。國姓爺生國日本ナル故ニ生國ヲ慕ノ心ニヤト云。

道程日本ヨリ海上六百四十里。廣門ヨリ百里南也。嶋ノ長サ日本ノ百二十里アリ五月已後ノ南風ヲ候テ来ル也。

此嶋ノ人ハ甚卑シウシテ。常ニ衣服ヲ不着。山中ノ

(五才)

獵師常ニホコヲ持テ鹿ヲ追ヒ。其肉ヲ生ニテ食シ。其皮ヲ賣テ酒食ニ代ルナリ。身甚輕ク走ルコト鹿ニモマサレリ。山中ニ計居ル故ニ山童ト號ス。海邊ノ漁人猶以賤也。尤モ詞モ曾テ不通。根本ハ文字モ無之國ナリシカ。國姓爺以來ハ漁人獵師之外ハ。唐人多ク居住スル故中華ノ風儀ヲ習タルモノ多キ也。

(五ウ)

四季四五月ノ比ハ大キニ熱セリニ八月ノ比ハ日本ノ六七月時分ノ如シ。此國ノ十一月十二月比ハ日本ノ八九月比ニ同シ。雪霜降コトナキ國也。一年ニ二度ツ、田作スル所也

土産

白砂糖 鹿皮 山馬 獐皮 木綿 西瓜

右之類唐船二積テ來ル也。是ヲ大冤出シノ舟ト云也。

交趾カウチ

一國ノ惣名ヲ交趾ト云。日本ニハ此國ノ内。廣

南ト云所ヨリ來船ヲ交趾船ト云也。安南國ト

云モ交趾東京ノ惣號ト見ヘタリ。國主アリテ

仕置ス。

海上日本ヨリ千四百里。唐ノ西南ノ方ニテ。雲南

邊ヨリ陸地往來アリト云。五月以後南風ニテ日本

ニ來ルナリ。

四季大冤ヨリ又暖國也。霜雪ト云コト一生不レ知所也。

人物衣服今ノ唐人ノ形トハ各別也。清朝ノ以前ノ

衣服ニ似リ。人ノ顔ノ色少シクロシ。頭ハ日本ノ男

子ニ似テ少シ百會ニサカヤキヲ剃タリ。女ハ日本

ノ下女ニ似リ。男女トモニ齒黒シ。此國往古ヨリ唐

ニ隨ヒ。海陸ノ道路不レ絶故ニ唐人ノ風儀文字ヲモ

(六才)

(六ウ)

用。唐ノ禮法ヲ尊フトイヘリ。此國ニ唐人餘多居住ス。又福州漳州ノ商人此所ニ行テ諸色ヲ調ヘ日本ニ來ル也。住居ノ唐人國主ノ下知ニテ日本渡海ノ商船仕出シ來ルモ有之。其船ニ地ノ人モ乘來ル也。此國ニ昔日本人渡海ノ時ニ住居セシ。其子孫モ有之由。

土産

(七才)

奇楠キヤラ 沉香アライト 黄絲マカイ 紬シヤウ 紗シヤ 羅ワ 王マカトホツケン 絹キウ
 絲頭シトウ 系線ケイセン 木綿嶋シヤウマ 烏絞ウキウ 牛黄ウシウ 藤黄トウウ
續眞也 紫梗シイコウ 姜黄シヤウウ 鉄刀木テツトウキ 胡椒コウカ 樹皮ジュヒ
 檳榔 蘇木 大風子 漆 蠟 束香 椰子油
 鮫 砂糖水白黒 浮石糖カルメル 砂糖蜜 青黛 響枝花
 山帰來 牛皮 同角 木綿糸 花布サラサ 甘松 肉桂
 烏藥 霍香 此外少々藥種有之

(七ウ)

東京

(八才)

此國根本交趾國ノ都ナリシニ近代東京交趾ト
 各別ノ國ニ成テ軍不_レ絶。舊_{モト}八一國ニテ兄弟ノ國
 也。末々子孫ニ至リテ争ヒ起レリ。兩國ノ界ニキヤ
 ント云山アリ。此山ノ肉桂天下第一ナリシヲ。兵火
 ニキヤンノ山ヤケテ。近年ヨキ肉桂不_レ来也。
 海上日本ヨリ千六百里。方角交趾同前也五月

(八ウ)

以後南風ニテ日本ニ来ル也。
 人物等交趾ニ等。但サカヤキ不_レ剃。髪ヲ束スル。齒
 ハ交趾ノ如ク黒シ。
 此國ニハヲランタ人モ商賣ニ往也。尤唐松此所ノ土
 産ヲ日本ニ積来レリ。居住ノ唐人モ多シ地ノ人モ
 唐船ニ乘テ日本ニ来ル。

土産

(九オ)

- 小黃絲 ホツケン 黃絹 シヨコン 綾子 縐紗 紗綾 紗
- 羅 縐 シヨコン 天鵞絨 シヤウ 絹 五糸 ハリヤウ 木綿 黒カハ白
- 宿砂 麝香 東南ニ 肉桂 上品 霍香 葉香シ 龍眼肉

山帰来 トタン 亞鉛 石黄 板榔子 護神香 蘇木

漆上品 扁獸 土燒物 塗物道具織糸 糸頭アライト テレメンテイナ

此外藥種等有之。

右之外國。何モ唐土ノ下知ニ隨テ法ヲ守リ。唐ノ

(九ウ)

文字ヲ用ユ。詞ハ其國ノ郷談ニテ各別也。衣服モ

今ハ不改。此文字通用ノ國ハ皆箸ヲ取テ物ヲ食

ラフ。横文字ノ國々ハ。何モ箸ヲ不用。手ツカミニ

テ食ラフト可レ知

外夷横文字ノ國也

占城チヤンハ

海上日本ヨリ一千七百里。

(十オ)

四季東京國ヨリハ又熱國也。此國邊ヨリ南天竺

ノ内也ト云。交趾ノ内ニテ交趾ヨリ仕置スル所モ有

之ト云。此國ノ者日本へ船仕出シ来ルコトナシ。唐人

此所ニ行テ諸色ヲ調へ。日本ニ乘来レリ。地ノ人

ハ甚賤キ也。常ニハダカニシテ往来ス。

土産

奇楠^{キヤラ} 沈香 白檀 枝花 鮫 樹皮 束香 檳榔子

耶子油 藤 魚膠

東埔寨^{カホウヂヤ}

日本ヨリ海上千八百里。唐ノ西南ノ方也。

四季熱國也。南天竺ノ内也。國主アリテ仕置ス。夏ノ

南風ヲウケテ日本ニ舩来。此國ノ大河八則天竺

恒河ノ末ニテ洪水アリ。初秋ノ比河水増テ。家

居皆水ニ浸ル故。二階ニ住ミテ。舟ニテ往来シテ

諸用ヲ便ス。魚鳥野菜等モ舟ニテ買賣スルト也。

十二月正月比ハ。水カハイテ本ノ平地ニ住居ス。尤

山近ク高キ所ハサモナキト云。不断蚊ノ大ナル有

テ人ヲ食フ。故ニ上人ハ日中ニモ蚊帳ヲ引ト也。

下々ハサモナキト也。

人物殊外賤シク。常ニハダカ也。貧賤ノ者ハ毎日

水ヲアヒテ日ニアタル故色黒シ。禮儀ヲ不知。富

(十ウ)

(十一オ)

貴ノ者ハ各別也。此國ノ人日本ニ不_レ来。唐人此所ニ
行テ船仕出来ル也。此已前日本ヨリ渡唐ト云テ。
長崎ヨリ商船ニテ渡海セシハ。皆東京交趾東埔
寨暹羅ニ渡テ。本唐ニ八行サリシナリ。

土産

鹿皮山馬ミトリ 牛皮 牛角 象牙 虎皮 犀角 犀皮
血竭キリシヤ 蘇木 黑砂糖 大風子 漆 藤 藤席

攀枝花 蠟 牛蠟 魚膠 紫梗 板榔

樹皮 雌黃 鮫色々カチヤン 多羅葉 鳥獸色々

大泥タニ

海上日本ヨリ二千二百里。南天竺ノ内也。所狹
クシテ賤キ國也。守護アリテ仕置ス。

四季人物ハ東埔寨ニ同シ。詞ハ東埔寨ニモ不通
各別也。此國ノ人日本ニ不_レ来。唐人住テ諸色調

来夏ノ南風ニ来。

(十一ウ)

(十二オ)

(十二ウ)

土産

砂糖蜜 胡椒 燕窩 錫 鮫 樹皮 丁子 牛角
 牛皮 西國米サンゴクメ 冰片 丁香皮 阿片 佳文席
 降真香 沈香 乾蝦カシエビ 藤席 藤 蠟 山豕ヤマアラシ
 猿猴 麝香猫 大猿 蛇 鸚鵡 孔雀 鳩 霍
 鳥獸色々々

六甲ロツノロ
或六龍

海上日本ヨリ二千二百里。太泥ノ南並ノ國也。
 守護アリ。此所太泥ヨリハ又狭ク賤キ國也。

四季九太泥ニ同シ。但東埔寨ヨリハ熱國也。人ノ形
 太泥ト同シ。此國ノ人日本ニ不來。土産唐人調來。

土産

蘇木 錫 鹿皮 牛皮 藤 藤席 燕窩エンス 樹皮

板榔 乳香 鮫 鳥獸色々々

暹羅シヤム
暹羅

海上日本ヨリ二千四百里。唐ヨリ西南ノ方二

(十三才)

(十三才)

當ル太國也。則南天竺是也。國王有テ仕置ス。此所ヨリ國主ノ船トテ。大船三艘毎年來。船頭役人八此所ニ居住ノ唐人也。其外八暹羅人モ乘來レリ六七月ノ南風ニ來ル。唐人阿蘭陀人往

(十四才)

テ諸色揃シ。日本ニ持來ル也。

四季大熱國也。十一月十二月八夜涼ク。其外八甚熱セリ。土地モ熱氣アリテ。晝ノ中八踏カタシ。人病アレハ頭ヨリ水ヲ多クアヒヌレハ。則病癒ユ。國主モ毎日金ヲ水ニスリテ呑ム。人物熱國故不斷裸ニテ。腰ニ木綿ノ類ヲ巻。或八肩ニ掛ルヲ禮儀トス。色黒毛髮短クチ、ミタリ。中人已下八皆八ダシナリ。

(十四ウ)

此國一年ニ二度田ヲ作故ニ八木ヤスシ。白米百斤銀二三錢スル也。此外モ暖國八何レモ二度耕ス也。釋迦之生國中天竺八是ヨリ北ニ當リテ四日路程アリ。暹羅ノ近國ニヘグウト云國アリ。此國マテ八釋迦出タマヒタルヨシ。伽藍ナント今ニ歷々有之。

尤暹羅ニモ寺有テ。出家モ多シ。横文字ノ經八。サ
ノミ多カラスト也。

(十五才)

昔日本人渡海ノ時。彼國ニ留住セルモノ、子孫今
ニ多有之。尤唐人モ多ク居住ス。

土産

花毛氈 花布 木綿島色々 大木綿 白檀 水牛角
鹿皮色々 鮫 牛皮 象牙 犀角 犀皮 鬱金 紅土ニツチ
錫 黑砂糖 切沙糖 椰子油 海椰子 焰硝 藤蓆
藤黄備置 藤 漆トヘドウト云所ヨリ出ル可ウルシ
トヘハアヤマリナリ 血褐キリケツ 板椰子并腹皮

(十五ウ)

花蕊 大風子 姜黄 乳香 多羅蜜 胡椒 響枝花
蠟 黑胡麻サンゴベ 西國米 魚膠 虎皮 綠丸 蛇皮
白豆蔻 阿仙藥 膽礬 燕脂 藻玉 木綿糸
線綿 阿片 肉桂 サボン 米 蘇木 芦荟 鳥獸色々
右之外色々少シ有之。尽ク難レ記。又八モウルノ國ヨ
リ出ルモノモ此國ノ船ニ持來也

シヤカタク
咬啗吧

海上日本ヨリ三千四百里。唐ノ南ニアル島國也。一國ノ惣名ヲ呷哇國ト云。其國ノ都也。阿蘭陀人此所ニ城廓ヲ築テ。日本諸國ヘ商船遣ス。ヲランタ國ノ主人ハ阿蘭陀國ニ住居ス。代官ヲ此所ニ置テ。遠國商船ノ下知ヲナサシム。其代官ノ名ヲセネラルト云。則咬啗吧ノ守護トシテ仕置ス。一國皆ヲランタノ下知ニ隨フ。唐人モ此所ニ商船乘來リ。ヲラン

(十六オ)

タノ免ヲ受テ。日本ニ渡海^ス。六七月南風ニ長崎ヘ入津ス。四季日本ノ夏ハ此國ノ冬也。日本ノ冬ハ此國ノ夏也。不斷大熱。日本ノ冬此國殊更ニ熱氣甚シ。日本ノ五六月ノ比少涼シクテ。夜々衣服ヲ用ル時分アリ。是ヲ此國之冬トス。此國ノ秋。日本ノ春ニ當ル。此國ノ春ハ日本ノ秋ナリ。摠テ四季ヲ立テ用ルコトハ。唐日本ノ事也。此邊ノ暖國ハ渾テ八季ノ國ト云テ。一歲ノ内八季有之

(十六ウ)

國共ナリ。此國ノ人甚賤ク色黒キ也。不斷裸ニテ。形

(十七オ)

暹羅人ニ同シ。詞ハ違タリ。此國ノ者ハ日本ニ不來。ヲラ
ンタ唐人船遣ス。水主ノ内ニ八地ノ人モ乘來ル事アリ。
此所ノ湊ニ商賈ノ船。出入之時分ニ荷物ノ多少ニ應シテ
運上ヲ取。其銀子集置テ湊口或ハ船カヽリ場普
請料トス。國主ハ不取ト云。

土産

黒木綿 咬啗吧島 沈香 乳香 沒藥 朱砂 石黃
紫檀 血竭 猴棗 白檀 丁子 燕窩 番木鱘
グンゼウ 蠟 漆 砂糖水黒 蘇木 檳榔 肉豆蔻 蜜
佳文席 藤 藤席 鼈甲 鹿皮色々 巴旦杏アマンダウ ホスメンス
アラキ酒 フラスコ 龍腦 安息香 米 竹 インコ鳥
孔雀 白鳥 カツワル火ヲ喰 テウセウ鳩 ハヽ鳥 山アラシ
リス 猿木小 犬色々 デンケン ジャカウ猫

(十七ウ)

呱哇ジャワ

海上日本ヨリ三千五百里。ジャカタラ國ノ摠名ナリ。
凡日本程ノ島國也。此國天竺地ニモアラス。暹羅ヨリ

(十八オ)

南方ニ當ル島ナリ。此所ノ舟ハ不來。唐人ヲランタ舟ノ水主トナリテ來ル也。

四季シヤガタラ同前。人物暹羅同前。但シ身ニ小紋ノカラクサナトノ入墨アリ。甚イヤシキ人物也。

土産

板椰子 紫旦 沈香 藤 此外シヤカタラノ内ノ土産トシテ來ル。諸色モ大形此國ノ内也。

番日^{ハタン}

海上日本ヨリ三千五百里。シヤカタラノ近國。則呱

哇國ノ内也。唐人此所ニ往テ日本ヘ運遣ス。

四季咬啗吧同前。人物其外衣服等皆上ニ同シ。

土産

砂糖 鹿皮 藤 同席 板椰子 佳文席 沈香 丁子

鳥獸

母羅加^{モロカ}

海上日本ヨリ一千七百里。太泥國ノ南也。近代阿蘭

(十八ウ)

(十九オ)

陀人ノ手下ニ成テ。ヲランタヨリ仕置ス。船モヲランタ此國ヨリ仕出ス。唐人モ往テ商賣スル也。

(十九ウ)

人ノ色甚黒シ。衣服風俗ヲランタニ似リ。四季大熱。

土産

錫 燕窩 米 胡椒 朱 ヘイタラボルコ畜類色々

モウル

海上日本ヨリ三千八百餘里。

此國則南天竺ノ内。第一ノ大國也。暹羅ノ西也。

此國ノ舟此已前長崎へ入来。近年ハ来ラス唐人モ

(井オ)

往事ナシ。此國ノ人ハシヤム船ニ乗来ルコトアリ。此國ノ内ヘヲランタ住所モ有之。尤國主アリ。

人物シヤムニ似テ色黒シ。富貴ノ者ハクロカラス。詞遣羅ニ似テ又別也。

四季シヤム同前。達磨大師此國ノ人ナルヨシ。

土産

木綿島 色々 花布 色々 花毛氈 奥島 瓷器 金巾木綿

糸織物之類色々 金入木綿色々

阿蘭陀

海上日本ヨリ二万二千九百里。ヨランタ國合テ七州
セイラント グルウネゲ ウイタラキ ケルトウント
ヲウブルイセル フリイスラント ヲランタ

此國ノ者トモ商船ヲ仕立諸方ノ國々へ遣ス。此國
唐ヨリモ日本ヨリモ。西北ノ方ニ當テ。甚遠キ國也。

(井一オ)

本國ノ守護コンハンヤト號ス。國々ニ商船遣ニ遠國故。
咬啗吧國ニ代官ヲ置。諸方へ商船ノ下知ヲナサシム。

此代官ヲセネラルト號ス。此セネラル諸方ノ勘定ヲ聞
置テ。十年ニ一度ツゝ。本國コンハンヤニ搦勘定ヲ致ト也
長崎入津ノヨランタ船。本國ヨリ直ニ來ル事ナシ。咬啗吧
暹羅東京ナトヨリ。其所ノ物調來ル也。

四季寒國也。此國ノ北ニ夜人國氷海ナト云所アリ。二

千餘里有之由。人間不住。大寒國ナリ。

(井一ウ)

人物色白ク毛髮赤ク。鼻高ク眼二星アリ。

衣服毛織ノ類ヲ專ラ用ユ。装束ヲ飾リ國法ヲ守ル。

毎年正月江府へ參禮ス。

此國ノ人長崎ニ常居住ス。別ニ一館ヲ構ヘテ。出入禁ス。毎年六七月著岸。去年來朝ノ者。江府參禮ヲ勤。秋ニ到テ帰帆ス。今年逗留ノ者。又來年如此動也。

(廿二才)

衣服風俗毎年關東往來ニ諸人ノ見ル通也喜之。

詞天竺ノ詞ニモアラス。南蠻ナトノ詞トモマタ各別ニシテ不通。音律唇ト舌トノサキニテ云フ詞也。日本ノ詞ハ。唐人ヨリヲランタ人却テヨク云也。日本人ノ言音調子相應トミヘタリ。

此國萬細工タクミニシメ。工夫厚キ國也船ヲ乘事第一上手也。地理天文運氣ヲ委ク修行スル也。醫道モ

(廿二ウ)

一流有之也。

此船昔ハ毎年平戸ニ入津セシヲ。寛永十八年ヨリ

長崎へ入津ス。六七月南風ニ來朝。八九月廿日ニ定

テ去年ヨリ滞在之者代テ帰帆ス。

土産

猩々皮 羅紗小大 ラセイタ サルゼ カルサイ ヘルヘトワン ハレイタ

サエツ アルメンサイ ヘルサイ スタメン ゴロフクレン チヨロケン

(廿三才)

サアイ レイガドウル フラアタ カベチヨロ ドンス タビイ

毛ピロウド ヲランダ金入 ヲランダ箱 金唐皮 チヤウウ島

シユス 青皮 小豆皮 琥珀 珊瑚珠 水晶 瑪瑙

金銀 水銀 薰陸 ヘツ甲 ヘイタラボルゴロ ミイラ

ヘイタラバサル ルザラシ ウンカウル キリン血 朱砂

パウテコウブラ并パウテ チヤンハン ゲンゼウ 血留石

火取石 浮玉 香敷銀 鉄并 ハガネ 萬力

(廿三才)

升降圖四季ヲ知ルモノ 世界圖色々丸平 星ノ圖丸平 繪 具足甲

加留多舟ヲリノル カナ燈籠 遠目鏡 鼻目鏡 虫メカネ

礮メカネ 造花 ヒイト口鏡 ヒイト口道具 皮ノ盾

鉄砲 カツフリ 劔 作革色々 磁石針眞経上云 土圭色々

焼物 石筆 琥珀ノ造物色々 外科道具 ヲランダサフラン

トロンベイタ スランガステン ギヤマンテ 大鳥ノ羽 星尺
クワトロワン イスタラビ目計 縫物針 紙 痰ノ薬 猿

(廿四才)

カウヤク 油薬テレハルサン ホルトガル 丁子 土ノ油 アセトウチ

此外油尽ク記サス。外科ノ知ル所。

酒色々 チンタ ブドウ酒 モウム アラク アガビイダ此類色々

右之外小間物或草木薬種。織物之類記尽シ難シ

阿蘭陀人商賣ニ往行ノ國々三十五箇所左ニ記ス

東京 母羅加 暹羅 咬啗吧

此ノ四ヶ国八前ニ記ス。唐人モ独行スル也。

(廿四ウ)

ケイラン 日本ヨリ海上二千百九十里。

島也唐船モ日本へ渡海ノ時又ハ他國へ往来スルニ船ヲ寄スル事アリ。守護アリテ仕置ス熱國ナリ。

土産 金 硫黄 鹿皮 炭 沈香

ソモンダラ或サマタラ スマタラ 日本ヨリ海上二千四百里

天竺ノ南海ノ中ニアル島国也。守護ナシ。所々ニ司カラ往行レテ商賣スル也。所々ニ頭人アリテ面々ニ仕置ス。商

賣八商人ノ心次第ニテ運上ライタスコトナシ。

(廿五才)

此國大熱國也日本二月ノ比。此國大ニ暑シ日本ノ

夏ト冬ノ比少熱氣薄シ。サレトモ日本ノ五六月ノ時分

ヨリ涼コトナシ。赤道ライタゞク地也。故ニ春分ヨリ秋分

マテ八日中ノヒカゲ南ヘサス。秋分ヨリ春分マテ八北ヘ

サス。春秋二分ニ八カゲナシ

形暹羅人ニ似テ色黒シ。不斷裸ナリ。

(廿五ウ)

土産金ハッル胡椒 藤 佳文席 硫黄 沈香 丁子 鼈甲

ベクウ 日本ヨリ海上ニ千五百四十里

暹羅ヨリ三日路有之。釋迦佛此所ニモ居住シ玉ヒタ

ルトテ。大伽藍今ニ有之。則南天竺之内也。尤國王アリテ仕置ス

人物四季暹羅ニ同シ。

土産 漆 象牙 亞鉛 阿仙葉 口ウベン玉 米

アラカン 日本ヨリ海上ニ千九百四十里

(廿六才)

南天竺ノ内也。國王アリテ仕置ス。人物モウル人ニ似テ暖國也。

土産 金 象牙 蠟 麻苧 米

サイロン 日本ヨリ海上三千里

嶋國也守護アリテ仕置ス。人物モウルニ似テ暖國ナリ。

土産 肉桂 象牙 檳榔 水牛角 同皮

真珠 海ヤシ等

ハンダ 日本ヨリ海上三千九百里

嶋ナリ守護ナシ。近代ハヨランダノ手下ニ付テ。ヲラ

ンタヨリ仕配ス。人物モウルニ似テ暖國也。

土産 沈香 胡椒 丁子 白檀 ビリ、ニクツク

タバコ インコ鳥色々

コストカルモンテイル 日本ヨリ海上三千里

モウル國ノ手下ニテ。モウルヨリ代官ヲ置テ仕配ス。暖國也。

土産 木綿色々 奥島 金巾小次 筭崩島 金サラサ

(廿七オ)

コンデレキ 白焰硝 鮫 キヤマンノ玉 ギカン島 シマ織物色々

ベンカラ 日本ヨリ海上三千三百里

モウル國ノ手下ニテ。守護ヲ置テ仕配ス。人物モウルニ

(廿六ウ)

似暖國也。南天竺ノ内也。

土産 ヘンカラ糸色々 ヘンカラ奥島 アレシヤ ヘンガラカイキ
テヤウウシマ ラカテ島 金入織物色々 木綿島色々 金巾
サンクスシ糸モメ 縫蒲團 絲織物色々 砂糖白黒水 明砂

(廿七ウ)

阿仙薬 丹土 焰硝 牛黄 麝香 阿片 ボウトル テグス

サラアタ

日本ヨリ海上四千五百里

モウル國ノ手下ニ付テ。諸事仕配ヲ受ル所ニテ暖國ナリ。

土産 奥嶋 金巾小大 マタフウギガン サンクツシ セイラス
コンテレキ 大木綿 カアサモメン 花サラサ 霜降サラサ
ヌメサラサ サラタ嶋 サラタ金入 花毛氈 鮫 木香
アセンヤク 乳香 木没薬 胡黄連 蘇香油 海椰子

(廿八オ)

真珠 グンゼウ 雌黄 瑪瑙 ビリ、安息香 縫蒲團

モハア

日本ヨリ海上六千里

モウル國ノ手下守護ヲスル支配ス。人物モウルト同シ暖國也。
土産 キリン血 系織物色々

マカサアル

日本ヨリ海上三千三百里島也。

守護アリテ仕置ス。人物モウルニ同シ。暖國ナリ。
土産 金 米 白旦 タバコ

(廿八ウ)

マルバアル 日本ヨリ海上三千七百五十里。

國主アリテ仕置ス。人物モウルニ似リ。暖國ナリ。

土産 武具^{色々} 楯ノ板 血留石 米 スランガステン
ルザラシ 宿砂 麝香猫

テイモウル 日本ヨリ海上三千八百五十里。

嶋也守護ナシ。所々ニ頭アリテ面々ニ支配ス。人物シヤムニ似
リ。暖國也。土産 丁子 胡椒 白旦 沈香 肉豆蔻

(廿九オ)

タバコ インコ鳥

セイロン 日本ヨリ海上三千八百七十里。

嶋ナリ守護アリ。人物シヤムニ同シ。暖國ナリ。

土産 肉豆蔻 ビリ、ルサラシ 鳥獸^{色々}

タルナアタ 日本ヨリ海上三千八百九十里。

嶋ナリ守護アリ。人物モウルニ同シ。熱國也。

土産 白旦 丁子 沈香 肉豆蔻

アンボン

或ハアンボイ

日本ヨリ海上三千九百里。

(廿九ウ)

嶋ナリタルナアタノ守護ヨリ仕置ス。人物モウルニ同シ熱國也。

土産 丁子 白旦 沈香 ビリ、胡椒 肉豆蔻

マソウヤ 風鳥 インコ鳥 カズワル

鳥子食

ホルネヲ日本ヨリ海上三千九百里。

嶋ナリ守護ナシ。所々ニ頭アリテ面々ニ支配ス。人物シヤム

同シ熱國也。

(三十オ)

土産 ハイサラバザル マヤマンノ玉 龍腦 藤 アシタンゴザ

ムネカウヘヤ

日本海上四千百里

守護アリテ仕置ス。人物モウルニ似リ。暖國ナリ。

土産 琥珀 珊瑚珠 五穀 香鋪銀 畜類華

マタカスクル日本ヨリ海上五千百里。島ナリ暖國也。

守護モナク仕置モナシ。風俗人間ノ作法ニアラス。阿

蘭陀人ノ往来ニ。船ヲ寄テ品々取ルナリ。

(三十ウ)

土産 黒旦 異木ノ類 鳥獸

色々々々

ハルシヤ 日本ヨリ海上五千百里 守護アリテ仕置ス

人物モウルニ同シ。四季日本ニ同シ。

土産 ハルシヤ糸^{色々} ハルシヤ皮^{色々} ヘイタラバサル^サ 馬 甘草

蘇香油^{アメントウス} 巴巨杏^{アメントウス} 葡萄酒 干ブドウ 乳香 花ノ水

羊 酒^{色々} 金入織物^{色々} ハナモウセン

カアボデホウヌイスフランス 日本ヨリ海上六千三百里。

(三十一オ)

守護モナク仕置モナシ。風俗人間ノ作法ニ非ス。商賣ノ

道モ不知。ヲランダ人往来ニ。舟ヲ寄テ品々ヲ取也。

土産 大島 犀 虎 牛 鹿 野牛^{ブタ} 猪^{ブタ} 鳥獸^{色々}

フラセル 日本ヨリ海上七千五百里

守護仕置等モ不^レ知也人間ノ風俗ニ非ス。此國ノ人色

黄色也。四季アル國ナリ。

土産 砂糖^{水白黒} 生姜 材木 黒豆 繪具^{色々} タバコ 鳥類^{色々}

(三十一ウ)

ケネイ 日本ヨリ海上八千四百里。

守護ナク仕置ナシ。風俗人間ニ非ス。黒坊也暖國也。

土産 砂糖^{水白黒} 象牙 金子 インコ鳥^{色々}

トルケイン 日本ヨリ海上二万二千五百五十里。

守護アリテ仕置ス人物モウルニ同シ。寒國也。

土産 糸織物^{色々} 毛織ノ類 木綿織物 金入

フランカレキ 日本ヨリ海上二万二千八百里。

(三十二オ)

國主アリテ仕置ス風俗ヲランタニ似リ。四季日本ト一様。

土産 酒^{色々} 糸織物^{色々} 木綿織物^{色々} 小道具

ズバイテ 日本ヨリ海上乙万三千三百八十里。

守護アリテ仕置ス。風俗阿蘭陀ト一様。四季アル國也。

土産 船網 麻苧 碇^{テヤ} 材木 銅 鉄 石火矢

テイスマルカ 日本ヨリ海上乙万三千三百里。

守護アリ仕置アリ。人物ヲランタト一様。四季アリ。

(三十二ウ)

土産 スヘイテ國ニ同シ。

ノウルウイキ 道程未^レ審。

テイヌマルカ國ノ手下ニテ。其國ノ王ヨリ代官ヲ遣シ置

テ仕配ス。人物等阿蘭陀ニ同シ。寒國ナリ。

土産 帆柱 材木 鉄 劍^{ハカネ} 鋼

トイチラント

トイチラント

日本ヨリ海上二万三千四百四十里。

國主アリ仕置アリ。人物同前。四季アリ。

(三十三才)

土産 五穀 金銀 小晶玉 水銀 壽金 酒色々

藥種 畜類ノ皮 毛織ノ類 木綿之類

ホウル 日本ヨリ海上乙万三千六百五十里。

守護仕置アリ。人物同前。

土産 琥珀 五穀 畜類ノ皮

クルウンラント 日本ヨリ海上乙万五千三百里。

人不_レ住島也。甚寒國也。阿蘭陀國ノ者此島ニ行テ。鯨

(三十三才)

ヲ取油ヲ煎ス。

土産 鯨 同油

已上三十五箇國阿蘭陀人商賈往来之國々ナリ。

何モ商人ノ事ハ。商人面々ノ相對ニテ國主方ヨリ

カマイナシ。運上其外船ヲ改ル事モナシ。但_シ東京國ハ

カリ著船ノ節舟ヲ改ム。

右阿蘭陀人書付テ江府へ指上タル寫也。其外數

年往来之異國人二相尋書記ス者也。

附録

サントメ 日本ヨリ海上三千八百餘里。

南天竺ノ内也。暖國ナリ。人物モウルニ同シ。日本へ不
レ来。暹羅人唐人商賈ニ往事アリ。

土産 鮫 木綿島 織物之類

インデヤ 日本ヨリ海上四千餘里。

南天竺ノ内也。暖國ナリ。海邊遠キ國也。唐人阿蘭

陀人モ往来セサル也。

土産 革之類。

ラーウ 日本ヨリ海上二千六百里。

南天竺ナリ。暖國ナリ。暹羅國ノ西也。唐人阿蘭陀往
来ナシ。シヤム人往来ス。

土産 木綿類 班竹ヒツ 黒キ文アル竹ナリ則是ヲ

ラーウ竹ト云。キセルノラーウ此ヨリ名ルト

(三十四才)

(三十四ウ)

(三十五才)

右三ヶ國。人物皆シヤム又ハモウルニ類ス各國主アリ

カフリ 日本ヨリ八千餘里。

大國ニシテ熱國也。守護ナシ。人物人ノ作法ニ非ス。阿蘭

陀南蛮人ノ類。此國ノ人ヲトラヘ或ハ買取テ永代ノ

下人トナス。阿蘭陀日本ヘモツレ来ル也。人間太^{タクマシ}タ

ク。力強ク色黒キ事漆ニテ塗ルカ如シ。死人ヲアブリ

テ食フハ此國ノ人也。

土産等之事未レ審。

パタン 日本ヨリ海上千餘里。

暖國也大宛ノ南ノ島也。延寶ノ比。此島ノ船。十七人

乗テ。日向ノ國ニ漂着ス長崎ヘ送リ来。阿蘭陀舟ニ

ノセテ本國ヘ歸サル詞通ゼサリシヲ。横山與三右衛

門ト云通事。世界ノ書畫ミセテ國ヲシラシム。其人甚

賤シク。形チムサノトシテ。犬ヲ煮食スルコトヲ悦フ也。

十七人ノ内十三人死ス。四人歸國。

土産 風俗等未レ審。

(三十五ウ)

(三十六オ)

マロク 日本ヨリ海上千五百里。

嶋也。熱國ナリ。ハタンノ近ク也。

土産 丁子多キト也。

チヤウ 日本ヨリ三千八百里。

南天竺ノ内也。四季人間等モウル人ニ類ス。

土産 チヤウ鷹。木綿織物。

日本渡海停止之國々

イスハンヤ 并ニボカステラ則南蛮切支丹國也。日本

ヨリ一万二千餘里ノ由。此國世界ノ圖ヲ以テ見ルニ。

唐日本ヨリ八西方也。然ルニ南蠻ト號スルコト。此國ノ

手下アマカハ或ハロソソ國。唐日本ノ南方ニ當レル

(三十七オ)

故。此號有之モノカ或説日本ヨリ歸國スルニ南ヲサシテ
ユク故名。此國ノ類國ニ

イスハニヨウ ノウハイスハニヤト云國有之由

阿媽港 アマカワ唐言ニアマカン
日本ニテアマカワト云 日本ヨリ九百餘里

カン 廣東ノ南ニ當リタル所ノ由糸類織物ノ類多キ由。

(三十六ウ)

呂宋^{ロフン} マンエイラバ、ヤン
ハカシナン 日本ヨリ八百餘里。

大宛ノ南ナル鳶也。暖國ナリ則南蠻人住居ノ嶋也。

(三十七ウ)

此島昔ハ守護ナカリシヲ。南蛮人イツトナク隨ヘ領知

セリト云。マンエイラ。ハ、ヤン。ハカシナン。皆此國ノ内ナル由

土産 鹿皮 牛皮 蘇木 砂糖 藤 此類多キ由

エケレス^{トモ云} イギリス 日本ヨリ一万千七百里

鳶也。人物阿蘭陀人ニ似リ。昔ハ平戸ニ數年入津セ

シカトモ。商賈益ナキヨシ。江府ヘ達シテ不_レ来シカ。寛文十

三年五月ニ。又長崎ニ一艘入津セシカトモ。免許ナク

(三十八オ)

七月ニ歸帆ス。船モ阿蘭陀ニ同シ。

右之國々昔ハ日本ニ来リシカ。當今停止セラレテ。不

レ来ナリ。イギリス國ハキリシタントハ。又別ナル國ノヨシ。

南蠻船停止。寛永十五年ヨリ也。

寛永十七_{庚辰}年五月ニ呂宋ヨリ南蛮船一艘長崎

ニ入津ス。同六月中旬ニ。南蠻人七十四人ノ内六十一

人誅罰セラレ。船ハ長崎ノ湊口。スジ浦ト云所ニテ焼却

(三十八ウ)

残ル十三人八日本ニ来ルコト本意ニアラサル事。明白ナルニ依テ。赦免アリテ。唐船ノ舊ルキ船ニ乗テ本國ニ帰帆ス。郷ニ帰テ此旨語り聞セ。再日本ニ来ルコトナカレト也。正保四年^{辛卯}六月廿四日。南蛮船二艘長崎ノ沖。イワウ篤ニ着ク。同廿六日入津ス。諸国ノ人數ヲ集メ。海邊ニ陣ヲ張テ警固^ヲ。同八月六日免許セラレテ帰帆ス。寛文五^{乙巳}年五月廿二日ヲラン船一艘入津。同廿四

(三十九オ)

日船中ヨリ出火アリテ焼却。銀高三千貫目。ヘンカラ糸七万斤。其外織物毛織。色々一時^ニ灰塵トナル。寛文十三歳^{癸丑}五月廿四日。エケレス舟一艘入津ス。七月下旬帰帆。

是ヨリ先慶長^{二丁酉}年。有馬修理大夫。長崎ノ沖イワウ嶋ニライテ。南蛮黒船一艘焼却セラル。此時イマタ入津停止ナキ已前ナリシカ。有馬ノ船へ彼船ヨ

(三十九ウ)

リ海賊セシ故也ト云。

貞享二^乙六月二日。アマカ八舟一艘長崎二入津。
 號八伊勢國ノ商船。一艘人數十二人乗タル船。ア
 マカワニ漂寄ス。此船ヲ送り届ケンタメ也キ。依之
 赦免セラレテ。七月八日出帆。逆風ニテ渡口ニ數日
 滞留^{シテ}。七月廿九日帰帆。南蛮人上下四十七人ナ
 リキ。伊勢ノ者。牢舎。辰ノ年出牢。伊勢國へ帰ル。

(四十才)

自長崎異國路程

壹岐國 四十八里 五島 四十八里
 對馬^{豐州ヨリ} 九十六里 朝鮮^{對馬ヨリ} 百四十里
 琉球 三百四十里 南京 三百四十五里^{或二百五十五里}
 東寧^{大宛} 五百廿六里 福州^{ホクチウ} 五百四十里^{或五百里}
 漳州^{或六} 六百四十里 泉州^{或六} 五百六十里
 カントウ^{廣東} 九百里 ヒヤウ 七百二十里

(四十ウ)

アマカワ 九百里 ^{カワチ廣南モ} 千三百二十里
 呂宋^{ロソン} 千八十里 ハガシナン 千里
 占城^{チヤン} 千六百六十里 マルカ^{麻六甲} 千六百九十里

カボチヤ
東埔寨或三千三百里 千七百廿里 暹羅或二千八百里 一千二百九十里

バタン 一千十里 咬啗吧或三百里 二千六百里

マカサル 二千百六十里 ゴワ或イ吧イ 四千百四十里

インデヤ 四千百四十里 サンロレンリ 五千二百五十里

(四十一オ)

イスパンニヤ 一万千七百卅里 ポルトカル 一万千百九十里

インゲレス 一万二千六百七十五里 阿蘭陀 一万三千二百里

ロウマ 一万三千二百卅里 東京トシキン 千五百里

萬丹 三千三百里 寧波ニンボ トモ云ウ 三百里

普陀山 二百三十里 潮州 六百里

廈門 六百里

星宿海ヨリ。南京ノ海マテ南北八百六十里。西東

千里。但山ヲ平地ノツモリニシテ。

北京ヨリ南京マテ。行程三十餘日

右日本ノ三十六町一里ニシテ記ルス者也。唐ノ一里八

日本ノ四町半八カリ也。唐二八一町二町ト云コトナシ。

(四十一ウ)

元禄八乙亥年三月中旬

書林

梅村歌麿門
古川三郎兵衛

雙梓

(四十二才)

〈参考文献〉

- ・『日本水土考・水土解弁・増補華夷通商考』西川如見著、岩波書店、昭和一九年八月
- ・石綿敏雄(一九九二)『増補華夷通商考』の外来語』『日本語史の諸問題』明治書院
- ・鈴木陽二(二〇〇四)『洋書の歴史雜記帳(XII)ドイツ學術受容の歴史(4)』『日本洋書協会会報』vol.38 No.1
- ・庭野吉弘(二〇〇八)『日本英学史叙説 英語の受容から教育へ』研究社
- ・松尾龍之介(一九九五)『江戸の世界聞見録(ゼオガラヒー)』漫画版『華夷通商考』蝸牛社